

「山上の教え」

イエス、十二使徒を任命される MK 3.13-19 (Parallel Text: LK 6.12-16)

13 ^L そのころ、イエスは山に出て行き、夜通し神に祈られた。夜が明けると、^M 山の中腹に上り、^L 弟子たちを呼ばれた。^M イエスが望まれた人々が集まり、そこに来た。14 イエスは十二人を選び、彼らを使徒として任命された。それは彼らがイエスとともにいるため、また遣わされて宣べ伝えるためであった。15 さらに、悪霊を追い出す権威を持つためであった。

16 イエスが任命した十二人の名はこうである。シモン（ペトロという名を与えられた）、17 ゼベダイの子ヤコブ、ヤコブの兄弟ヨハネ（この二人にはボアネルゲス、すなわち「雷の子ら」という名が与えられた）、18 アンデレ、フィリポ、バルトロマイ、マタイ、トマス、アルファイの子ヤコブ、タダイ、熱心党のシモン、19 そしてイスカリオテのユダ、彼はイエスを裏切った者で、^L 反逆者であった。

イエスの弟子の心の姿勢 MT 5.1-12 (Parallel Text: LK 6.17-26)

^L イエスは使徒たちとともに山を下り、平らな所に立たれた。

1 ^{MT} イエスは群衆を見ると、^L 弟子たちと大勢の民衆を見て、^{MT} 座られた。^L 彼らはユダヤ全土、エルサレム、またティルスとシドンの沿岸地方からやって来た人々で、みことばを聞き、病気をいやしていただくために来ていた。けがれた霊に悩まされていた人々もいやされた。人々はみな、イエスに触れようとしていた。イエスから力が出て、すべての人をいやしていたからである。

^{MT} 弟子たちがイエスのそばに来ると、2 ^L 弟子たちを見つめながら、^{MT} イエスは教え始められた。こう言われた。

3 「霊において貧しい人たちは幸いです。天の御国はその人たちのものだからです。^L しかし、富んでいるあなたがたは哀れです。あなたがたはすでに慰めを受けているからです。

4 ^{MT} 「悲しんでいる人たちは幸いです。^L 今泣いている人たちは幸いです。^{MT} その人たちは慰められるからです。^L 笑うようになるからです。今笑っているあなたがたは哀れです。あなたがたは悲しみ、泣くようになるからです。

5 ^{MT} 「柔和な人たちは幸いです。その人たちは地を受け継ぐからです。

6 「義に飢え渴いている人たちは幸いです。^L 今飢えている人たちは幸いです。^{MT} その人たちは満ち足りるからです。^L 今満ち足りているあなたがたは哀れです。あなたがたは飢えるようになるからです。

7 ^{MT} 「あわれみ深い人たちは幸いです。その人たちはあわれみを受けるからです。

8 「心のきよい人たちは幸いです。その人たちは神を見るからです。

9 「平和をつくる人たちは幸いです。その人たちは神の子どもと呼ばれるからです。

10 「義のために迫害されている人たちは幸いです。天の御国はその人たちのものだからです。^L すべての人があなたがたのことを良く言うとき、あなたがたは哀れです。彼らの先祖も偽預言者たちに同じことをしたからです。

11 ^{MT}「人々が^Lあなたがたを憎み、排斥し、^{MT}侮辱し、迫害し、^L人の子のゆえにその名を悪として^{MT}あらゆる悪口をあなたがたに対して偽って言うとき、あなたがたは幸いです。12 ^{MT}そのとき、喜び踊りなさい。^L躍り上がって喜びなさい。^{MT}天においてあなたがたの報いは大きいからです。彼らの先祖も同じように預言者たちを迫害しました。」

弟子はイエスの義のうちに生きる

MT 5.13-20

13 「あなたがたは地の塩です。しかし、塩が塩気を失ったら、何によって塩気を取り戻すことができるでしょうか。もはや何の役にも立たず、外に捨てられ、人々に踏みにじられるだけです。

14 「あなたがたは世の光です。山の上に建てられた町は隠れることができません。15 また、明かりをつけて桶の下に置く人はいません。燭台の上に置きます。そうすれば、家の中のすべての人を照らします。16 同じように、あなたがたの光を人々の前で輝かせなさい。人々があなたがたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父を崇めるようになるためです。

17 「わたしが律法や預言者を廃棄するために来たと思っはなりません。廃棄するためではなく、成就するために来たのです。18 まことに、あなたがたに言います。天と地が消え去るまで、律法の一点一画も決して消え去ることなく、すべてが実現します。

19 「それゆえ、これらの最も小さな戒めの一つでも破り、そのようにほかの人々に教える者は、天の御国で最も小さい者と呼ばれます。しかし、それを守り、また教える者は、天の御国で大きい者と呼ばれます。

20 「あなたがたに言います。あなたがたの義がパリサイ人や律法学者の義に勝っていなければ、決して天の御国に入れません。」

六つの実例：愛が旧約の戒めを完全に成就する道

愛は怒りと壊れた関係に正しく向き合う

MT 5.21-48 (Parallel Text: LK 6.27-30, 32-36)

21 (実例その一) 「昔の人々に、「殺してはならない。殺す者はさばきを受ける」と言われたのを、あなたがたは聞いています (出エジプト 20:13) 。

22 「しかし、わたしはあなたがたに言います。兄弟に怒る者はだれでも、さばきを受けます。また、兄弟に「ばか者」と言う者は、最高法院に引き渡されます。「愚か者」と言う者は、火の地獄に投げ込まれます。

23 「それゆえ、あなたが祭壇に供え物をささげようとして、兄弟に恨まれていることを思い出したなら、24 供え物はそこに、祭壇の前に置いたままにして、まず行って兄弟と和解しなさい。それから戻ってきて供え物をささげなさい。

25 「こう考えなさい。訴えてくる相手とは、一緒に道を行くうちに早く和解しなさい。そうしないと、相手はあなたを裁判官に引き渡し、裁判官は獄吏に引き渡し、あなたは牢に投げ込まれます。26 まことに、あなたに言います。最後の一コドラントを払うまで、あそこから出てくることは決してありません。」

愛は性、結婚、誓いに正しく向き合う

MT 5.27-37

27 (実例その二) 「「姦淫してはならない」と言われたのを、あなたがたは聞いています (出エジプト 20:14)。

28 「しかし、わたし自身があなたがたに言います。情欲を持って女を見る者はだれでも、すでに心の中で姦淫を犯しています。

29 「もし右の目があなたをつまづかせるなら、えぐり出して捨てなさい。体の一部を失っても、全身が地獄に投げ込まれないほうがよいのです。30 もし右の手があなたをつまづかせるなら、切り取って捨てなさい。体の一部を失っても、全身が地獄に落ちないほうがよいのです。

31 (実例その三) 「「妻を離縁する者は、離縁状を渡せ」と言われたのを、あなたがたは聞いています (申命記 24:1)。32 しかし、わたし自身があなたがたに言います。不貞を理由とせずに妻を離縁する者はみな、妻を姦淫の罪に陥れるのです。離縁された女を妻にする者も、姦淫を犯すのです。

33 (実例その四) 「また、昔の人々に、「偽って誓うな。あなたの誓いを主に果たせ」と言われたのを、あなたがたは聞いています (申命記 23:21)。34 しかし、わたし自身があなたがたに命じます。まったく誓ってはなりません。天をさして誓うな。そこは神の御座だからです。35 地をさして誓うな。そこは神の足台だからです。エルサレムをさして誓うな。そこは大王の都だからです。36 頭をさして誓うな。あなたは一本の髪の毛も白くも黒くもできないのです。

37 「あなたがたは「はい」は「はい」、「いいえ」は「いいえ」と言いなさい。それ以上のことは悪から出るのです。」

無条件の愛が真の義の基礎

MT 5.38-48 (Parallel Texts: LK 6.27-30, 32-36)

38 (実例その五) 「「目には目を、歯には歯を」と言われたのを、あなたがたは聞いています (出エジプト 21:24)。39 しかし、わたし自身があなたがたに命じます。悪い者に手向かってはなりません。あなたの右の頬を打つ者には、左の頬も向けなさい。40 あなたを訴えて下着を取ろうとする者には、上着も与えなさい。41 あなたに一ミリオン行くよう強いる者があれば、一緒に二ミリオン行きなさい。

42 「求める者には与え、借りようとする者を断ってはなりません。^L あなたから取っていく者のものを取り返そうとするな。何も返ってくることを期待しないで貸しなさい。罪人でさえ、返してもらうつもりで罪人に貸すのです。

43 (実例その六) ^{MT} 「「隣人を愛し、敵を憎め」と言われたのを、あなたがたは聞いています (レビ 19:18; 参照申命記 23:6)。44 しかし、わたし自身があなたがたに命じます。敵を愛し続けなさい。^L あなたがたを憎む者に善をし続けなさい。あなたがたをのろう者を祝福し続けなさい。^{MT} あなたがたを迫害し、^L 虐待する者のために祈り続けなさい。45 ^{MT} こうして、天におられるあなたがたの父の子どもになりなさい。父は悪人にも善人にも太陽を昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせてくださるのです。

^L 「あなたがたの天の父があわれみ深いように、あなたがたもあわれみ深くありなさい。そうすれば、あなたがたの報いは大きく、あなたがたはいと高き方の子どもになります。神は恩知らずな者にも悪い者にも親切だからです。

46 ^{MT} 「自分を愛してくれる人を愛したとしても、^L それがあなたがたにとって何の手柄になるのですか。^{MT} 何の報いがあるのでしょうか。^L 罪人でさえ、自分を愛してくれる人を愛します。自分に親

切にしてくれる人に親切にしたとしても、あなたがたにとって何の手柄になりますか。^{MT} 取税人や^L 罪人でさえ^{MT} 同じことをしているではありませんか。47 また、自分の仲間だけに挨拶したとして、それ以上何をしているのですか。異邦人でさえ同じことをしているではありませんか。48 ですから、あなたがたの天の父が愛と^L あわれみにおいて完全であるように、^{MT} あなたがたも愛と^L あわれみにおいて完全でありなさい。」

神への愛が、隠れた施しと断食の動機となる

MT 6.1-4, 16-18

原則：1 「人に見せるために、人前で善行をしないように気をつけなさい。そうしないと、天におられる父から報いを受けられません。

施しへの適用：2 「施しをするときは、偽善者たちが人々に褒めてもらおうと会堂や通りでするように、ラッパを吹き鳴らしてはなりません。まことに、あなたがたに言います。彼らはすでに自分の報いを受け取っています。

3 「施しをするときは、右の手がしていることを左の手に知らせないようにしなさい。4 隠れたところで施しをするためです。そうすれば、隠れたところで見ておられる父が報いてくださいます。

断食への適用：16 「断食するときは、偽善者たちのように暗い顔をしてはなりません。彼らは断食していることを人に見せようと、わざと暗い顔をするのです。まことに、あなたがたに言います。彼らはすでに自分の報いを受け取っています。

17 「断食するときは、頭に油を塗り、顔を洗いなさい。18 断食していることが人に知られないで、隠れたところにおられる父に知られるようにするためです。隠れたところで見ておられる父が報いてくださいます。」

神への愛が、ひとりで祈る動機となる

MT 6.5-15 (Repeated Text: LK 11.2-4)

5 「祈るときは、偽善者たちのようになってはなりません。彼らは人々に見せようと、会堂や大通りの角で立って祈るのが好きだからです。まことに、あなたがたに言います。彼らはすでに自分の報いを受け取っています。

6 「しかし、あなたが祈るときは、家の奥に入り、戸を閉めて、隠れたところにおられる父に祈りなさい。そうすれば、隠れたところで見ておられる父が報いてくださいます。7 また、祈るとき、異邦人のように同じことばをただ繰り返してはなりません。彼らは言葉数が多ければ聞かれると思っているのです。8 彼らのようになってはなりません。あなたがたの父は、あなたがたが求める前から、あなたがたに必要なものを知っておられます。

9 「だから、あなたがたはこのように祈りなさい。

「天にいます私たちの父よ、
御名が聖なるものとされますように。

10 御国が来ますように。

すべての人に御支配が完全に認められますように。

御心が行われますように、

天でするように、地でも。

11 今日、私たちに必要な糧をお与えください。

12 私たちに負債のある人たちを赦したように、

私たちの負債をお赦してください。

13 私たちを試みに会わせないで、
悪からお救いください。」

14 「もし人の過ちを赦すなら、天の父もあなたがたを赦してくださいます。15 しかし、もし人を赦さないなら、父もあなたがたの過ちを赦してくだされません。」

神への愛は、神だけへの揺るぎない忠実さを求める

MT 6.19-24

19 「地上に宝を蓄えてはなりません。そこは虫やさびが荒らし、盗人が押し入って盗みます。20 天に宝を蓄えなさい。そこは虫やさびが荒らさず、盗人が押し入ることも盗むこともありません。21 あなたの宝のあるところに、あなたの心もあるのです。」

22 「体のともし火は目です。目が健やかであれば、全身が明るくなります。23 しかし、目が悪ければ、全身が暗くなります。あなたの中にある光が暗ければ、その暗さはどれほどでしょう。」

24 「二人の主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛するか、一方を重んじて他方をないがしろにするかです。神と富に仕えることはできません。」

神への愛は、神のみ支配のもとに生きることを意味する

MT 6.25-34

25 「それゆえ、わたしはあなたがたに言います。何を食べようか、何を飲もうかと、命のことで思い悩んではなりません。また、何を着ようかと、体のことで思い悩んではなりません。命は食べ物よりも大切に、体は衣服よりも大切ではありませんか。26 空の鳥を見なさい。種も蒔かず、刈り入れもせず、倉に納めもしません。それでも天の父は養ってくださいます。あなたがたは鳥よりも価値がある存在ではありませんか。27 心配したところで、誰が自分の寿命を少しでも延ばすことができるでしょうか。」

28 「何を着ようかと、なぜ思い悩むのですか。野のゆりがどのように育つかを見なさい。働きもせず、紡ぎもしません。29 しかし、栄華を極めたソロモンでさえ、この花の一つほどにも着飾っていませんでした。30 今日あって明日炉に投げ込まれる野の草さえ、神はこのように装ってくださるなら、信仰の薄いあなたがたには、なおさら装ってくださらないでしょうか。」

31 「ですから、「何を食べようか」「何を飲もうか」「何を着ようか」と言って、思い悩んではなりません。32 これらのものはみな、異邦人が切に求めています。しかし、あなたがたの天の父は、これらのものがすべてあなたがたに必要であることを知っておられます。33 まず神の御国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて与えられます。34 ですから、明日のことを思い悩んではなりません。明日のことは明日が思い悩みます。その日の苦労はその日だけで十分です。」

神への愛は、他者ではなく自分自身をさばくことを意味する

MT 7.1-6 (Parallel Text: LK 6.37-42)

1 「さばいてはなりません。^Lそうすれば、あなたがたは決してさばかれません。また、罪に定めてはなりません。そうすれば、あなたがたは決して罪に定められません。赦しなさい。そうすれば、あなたがたは赦されます。与えなさい。そうすれば、あなたがたに与えられます。押しつけ、揺すり入れ、あふれるほどに量って、ふところに入れてもらえます。2 ^{MT}あなたがたは自分がさばく基準でさばかれ、自分が量る基準で量り与えられます。」

⁴ イエスはたとえを話された。「盲人が盲人を案内できるでしょうか。二人とも穴に落ちるのではないのでしょうか。弟子は師よりも偉くはありません。しかし、完全に訓練された者はみな、師のようになります。」

3 ^{MT} 「なぜ、兄弟の目にあるちりは見えるのに、自分の目にある梁には気がつかないのですか。4 自分の目に梁があるのに、どうして兄弟に「あなたの目のちりを取らせてください」と言えるのですか。⁴ 自分自身は見えていないのに。^{MT5} 偽善者よ。まず自分の目から梁を取り除きなさい。そうすれば、はっきり見えるようになり、兄弟の目からちりを取り除くことができます。」

6 「神聖なものを犬に与えてはなりません。豚の前に真珠を投げてはなりません。豚はそれを足で踏みにじり、向き直ってあなたがたに噛みつくでしょう。」

神への愛は、祈り続けることを意味する

MT 7.7-12 (Parallel Text: LK 6.31; 11.5-13)

7 「求めなさい。そうすれば与えられます。探しなさい。そうすれば見つかります。たたきなさい。そうすれば開かれます。8 すべて求める者は受け、探す者は見つけ、たたく者には開かれません。」

9 「あなたがたのうち、子がパンを求めているのに石を与える父親がいるでしょうか。10 魚を求めているのに、蛇を与えるでしょうか。」

11 「このように、あなたがたは悪い者であっても、自分の子どもに良いものを与えることを知っています。それならなおのこと、天におられる父は、求め続ける者に良いものをくださいます。」

12 「だから、人々にしてもらいたいことは何でも、あなたがたも同じように人々にしなさい。これが律法と預言者です。」

イエス、異なる二つの道と異なる結末について警告される

MT 7.13-23 (Parallel Text: LK 6.43-46)

13 「狭い門から入りなさい。滅びに至る門は広く、その道は大きく、そこから入る者は多いのです。14 しかし、命に至る門はなんと狭く、その道はなんと細いことでしょう。それを見つける者は少ないのです。」

15 「にせ預言者たちに気をつけなさい。彼らは羊の衣を着てやって来ますが、内側は凶暴な狼です。16 彼らの実によって彼らを見分けることができます。」

⁴ 「それぞれの木は、その実によって見分けられます。^{MT} 茨からぶどうを、あざみからいちじくを集められるでしょうか。17 同じように、良い木はすべて良い実を結び、悪い木は悪い実を結びます。18 良い木が悪い実を結ぶことはできず、悪い木が良い実を結ぶこともできません。19 良い実を結ばない木はみな、切り倒されて火に投げ込まれます。20 このように、あなたがたは彼らの実によって彼らを見分けることができます。」

⁴ 「良い人は心の良い倉から良いものを取り出し、悪い人は悪い倉から悪いものを取り出します。口は心に満ちているものを語るのです。」

「どうして「主よ、主よ」と言いながら、わたしの言うことを行わないのですか。21 ^{MT} わたしに向かって「主よ、主よ」と言う者がみな天の御国に入るのではなく、天におられるわたしの父の御心を行う者が入るのです。」

22 「その日には、多くの者がわたしに「主よ、主よ、あなたの名によって預言し、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名によって多くの奇跡を行ったではありませんか」と言うでしょう。23 そのとき、わたしははっきりと彼らに「わたしはあなたがたを全然知らない。不法を行う者たちよ、わたしから離れなさい」と言います。」

イエスの権威ある言葉という確かな土台
MT 7.24-29 (Parallel Text: LK 6.47-49)

24 「それゆえ、^Lわたしのもとに来て、^{MT}これらのわたしのことばを聞いて、それを実行する者は、^L深く掘り下げて岩の上に土台を据えて^{MT}家を建てた賢い人に例えることができます。25 雨が降って洪水が押し寄せ、風が吹いてその家に当たりました。^L洪水が来て濁流がその家に打ちつけましたが、揺り動かすことができませんでした。^{MT}しかし、家は倒れませんでした。岩の上に土台が据えられていたからです。

26 「しかし、これらのわたしのことばを聞いても実行しない者は、^L土台なしに地面の上に^{MT}砂の上に家を建てた愚かな人に例えることができます。27 雨が降って洪水が押し寄せ、風が吹いてその家に当たりました。^L濁流がその家に打ちつけると、^{MT}家はすぐに倒れました。そして、その倒壊は甚大でした。」

28 イエスがこれらのことばを語り終えると、群衆はその教えに非常に驚いた。29 それは、律法学者たちのようではなく、権威ある者として教えられたからである。